

四、おわりに

安 世舟

有難うございました。本来、司会者がすべてを総括してまとめるべきだと思いますが、今の中馬先生のお話の中で大体方向が出ておりますので、簡単に二、三だけ私がつまめさせて頂きます。今日のテーマであるマス・メディアと選挙の関係は、究極的には、代議制民主政における政党政治、それから政治制度、政治のありかた、国のありかたに深くかかわるといことが、これで明らかにされたと思います。今日は、あくまでもアメリカ、イギリス、日本におけるマス・メディアと選挙についての現状分析と問題提起ということで限られておりまして、その点については十分今日、四人の先生方の基調報告および今のディスカッションで明らかになったのではないかと思います。今後、インターネットが積極的に活用されて、日本およびイギリス等におきまして、選挙の様相が違ってくるかもしれません。そういう時代になりましたら、またわが研究所でもう一度こういう国際シンポジウムを、できれば同じメンバーで開いて、どう違ったのかということ話し合うことができたなら、どんなにすばらしいだろうかと考えております。そのことを大変楽しみにしまして、今日のシンポジウムを終えさせて頂きたいと思えます。長時間、実に六時間にわたりました、皆様、本当に御静聴有難うございました。